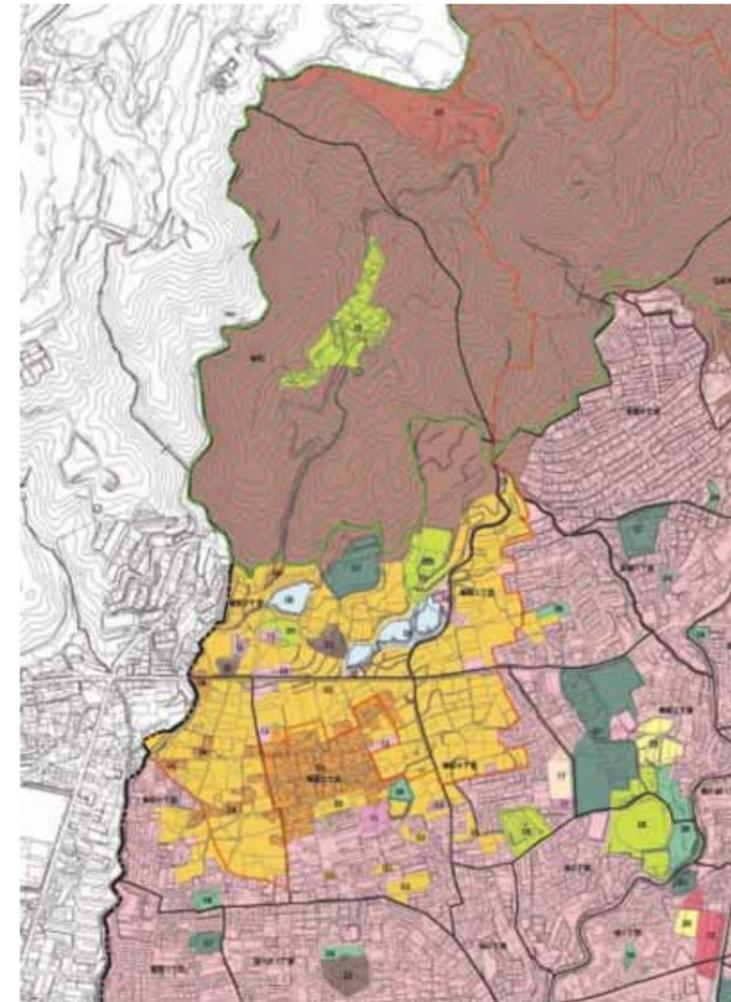


# 新稲地区（新稲一・二・四～六丁目の一部）

## 地区の概要

項目	概要
対象地区の概況	<p>(位置・面積)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市域西部、池田市（市街化区域）と接しており、山麓部に近く、地区内を東西に箕面池田線が貫通している</li> <li>区域面積は約 51ha</li> </ul> <p>(平成 17 年度人口・世帯 丁目ベースで集計、対象地区人口と一致しない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4,833 人、1,794 世帯</li> <li>0-14 歳 15.8%、65 歳以上 20.0%</li> </ul>
上位計画での位置づけ	<p>(第 4 次総計)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西部地域の将来像として良好な住環境イメージの維持、自然環境の保全など</li> </ul> <p>(都市 MP)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市街化区域編入検討地区として位置づけ</li> </ul> <p>(みどりの基本計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山麓部のみどりやまとまった農地・ため池のみどりの保全など</li> </ul> <p>(都市景観基本計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山麓部は山なみ景観保全地区に指定</li> <li>農地・ため池 / 昔からの集落地区として、水と緑の景観や落ち着いたまちなみの保全等を位置づけ</li> </ul>
地形	<ul style="list-style-type: none"> <li>山麓部から南に向かって傾斜が続いており、集落と農地が広がる</li> <li>箕面池田線以北の山麓部は、土石流危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所、地すべり危険箇所に指定されている</li> </ul>
なりたち	<ul style="list-style-type: none"> <li>池田方面から勝尾寺や箕面公園へと続く道沿いに村が発展した経緯があり、古墳等が地区内に残る</li> </ul>
自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>中池公園付近にはため池が点在しており、水利でも利用されている他、親水空間としての整備もされ、市民の憩いの場ともなっている</li> <li>山麓部は山なみ景観保全地区の指定がなされており、コナラ林を中心とした植生が見られる</li> <li>地区内には樹林地が点在し、山なみの緑と連続して緑豊かな景観を形づくっている</li> </ul>
農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区東部は稲作、西部は花卉（葉牡丹など）を栽培する農家が多い</li> <li>地区西部は不耕作地とみられる農地が多い</li> <li>地区内に河川が無く、北部のため池の水を利用し、1つの水利組合が所管している</li> </ul>
景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西に勝尾寺への巡礼道が通り、沿道の景観は新稲村の佇まいを残すまちなみや巨木がある</li> <li>スカイアリーナ付近や箕面池田線からは南部の平野が良く見渡せ、農地やため池とあいまって心地よい眺望景観となっている</li> </ul>
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>畑（35.4ha/69.1%） 山林（5.1ha/10.0%）</li> <li>北部は山林、南部は畑地（花卉）と集落地が占め、ため池が多く立地</li> </ul>
開発動向	<p>(地区内)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>箕面池田線沿道に宅地利用が集中しており、建設業等事務所が立地、近年はコンビニエンスストアが多い</li> <li>地区南西部では既存宅地により宅地開発がなされ、散発的に住宅が建てられている</li> <li>地区北西部の人目に付きにくい場所で資材置き場等が立地している</li> </ul> <p>(地区外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区境界部まで住宅が迫っており、開発圧力は高い</li> <li>特に地区西部は池田市の市街化区域と接しており、市境界を超えるとマンションや沿道店舗の立地が見られる</li> </ul>
基盤整備の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西に貫通する箕面池田線は整備済、交通量も比較的多く、通過交通が主となっている</li> <li>南北に貫通する瀬川新稲線、田村橋通り線が計画されている</li> <li>スカイアリーナ（市民運動場）が整備されている</li> <li>周辺には生活利便施設は立地しておらず、住居系の土地利用が中心</li> </ul>
地区まちづくりの経緯	

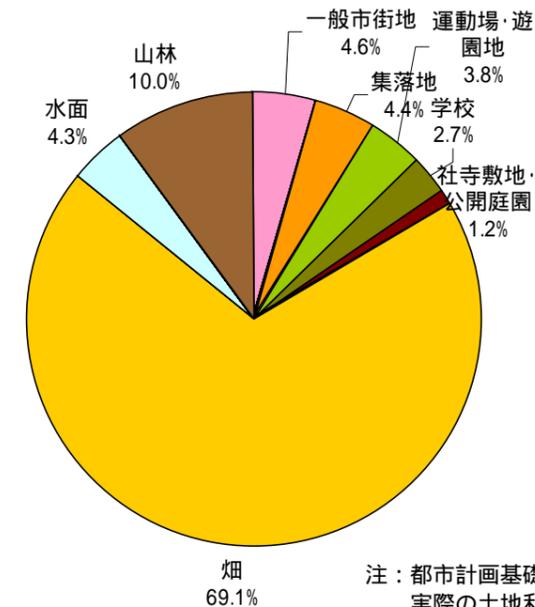
(土地利用現況-H18 年度)



土地利用現況凡例

分類	用途	割合 (%)	色	面積 (ha)	比率 (%)
住宅地	一般市街地	13	赤	6.6	12.9
	商業集落地	15	赤	7.7	15.1
	官公庁	12	紫	6.2	12.2
	工場	33	青	17.0	33.3
	農用地	34	黄	17.5	34.4
普通緑地	公園・緑地	36	緑	18.6	36.5
	運動場・遊園地	35	黄	18.0	35.3
	学校	37	黄	19.1	37.1
	社寺敷地・公園庭園	32	黄	16.5	32.4
農地	畑	24	黄	12.3	24.1
	山林	28	黄	14.3	28.0
	水	22	青	11.2	22.0
山林	雑木林等	21	黄	10.7	21.0
	ゴルフ場等	20	黄	10.2	20.0
水	河川	38	青	19.4	38.0
	池・沼	37	青	19.0	37.0
低湿地・荒廃地	河川敷等、無目的の空き地等	37	黄	19.0	37.0
公共施設	施設敷地等	11	黄	5.6	11.0
道路・軌道	幅員20m以上の道路軌道等	30	黄	15.3	30.0
その他	未利用地、未調査宅地等	17	黄	8.7	17.0

山なみ景観保全地区



注：都市計画基礎調査のデータによるが、実際の土地利用の現状とはずれがある

